

パップ剤とテープ剤の選び方



冷却効果が期待できる
(熱感がある急性期の炎症など)



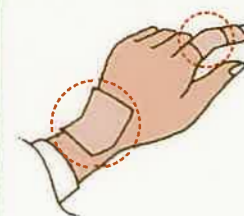
背中、腰など
広くて動きが少ない部位



貼りやすい
はがしやすい



肘、膝、指、手足関節など
動きの激しい部位



指や手首関節など、
比較的小さく、曲がった部位



はがれにくい

パップ剤の
推奨



患部の保護効果
(厚みがある)



かぶれにくい



ヒンヤリとした清涼感がある

テープ剤の
推奨



軽い
持ち運びが楽



冷たくない
(冬場の寒い時期など)



目立たない
におわない

患者さんの年齢やライフスタイルによる好みも異なるので、特に問題がなければ、患者さんの希望を優先することでよいでしょう。

貼付剤の種類



貼付剤の上手な使い方

- 患部を清潔にし、汗などでぬれている場合はよく拭き取ってから貼り付けてください。
- 続けて貼る場合には、はがしてから少し時間をあけて皮膚を休ませてから貼りましょう。
貼る場所を少しずらすとかぶれが起こりにくくなります。
- かぶれや発赤などの症状があらわれた場合には、すぐに使用を中止し、医師または薬剤師に相談してください。
- 傷口や他の薬を塗っているところは避けてください。
- はがすときは、ゆっくりとはがしてください。